

第4回/オンライン

ジェンダーとキャリア：

多様性と人権、そして構造的権力

授業全体の目的

・ジェンダー論に関する基本的な知識を理解し、それが自身のキャリアをデザインすることと、どのように関係するかを学ぶ。さらに、自身のキャリア・デザインが、他者や他人、親しい者たちや、制度とも深く関係することを、ジェンダー構造の理解を通じて理解する。

終了後の学生のイメージ

- ・性に関する多様性に関する理解に基づき、キャリアイベントをとらえることができるようになる。
- ・自らのキャリア・デザインの過程が、ジェンダー構造の構築に関わっていること理解することができるようになる。

進行の詳細（学習指導案）

所要時間	内容の詳細	備考・留意点他	資料
【5分】 【講義形式】	イントロダクション ①本日の予定の確認 ②受講上の注意事項	カメラなどの確認 資料などの確認	投影用資料 p.2
【15分】 【アクティブラーニング+講義】	0, 導入 ジェンダーとキャリアデザインの架橋にむけた問いかけ ①前回の授業との関係と事前課題 ②オンラインすごろくゲーム ③ライフイベントについて ④ジェンダー論 2つのポイント	ワーク1(事前課題) すごろくゲームでは、ライフイベントを見つける(課題へと発展させる) ワークシート 2	投影用資料 p.4-15 ワークシート 1 すごろくシート

【15 分】 【AL+講義 形式】	1, 何が問題か？ ジェンダー平等 について ①説明(フォトランゲージ) ②事例の紹介		投影用資料 p.16-20
【20 分】 【講義形 式】	2, ジェンダー論の展開 1 ①ジェンダー論(ジェンダーVS セックス図式)の出発点とその限界 ②ジェンダー論展開のきっかけ・・・セックスの多様性 ③性の四相と性の多様性	グラデュエーション の図の中に、様々な セクシュアリティ を持つ人が位置づけ られることを、パ ワポなどの資料を 用いて、説明す る。	投影用資料 p.21-39

【15 分】 【講義形 式】	3, ジェンダー論の展開 2：LGBTIs への配 慮から SOGI の視点へ ①SOGI の視点とは？ ②なぜ、SOGI の視点が重要なのか ③マイノリティへの配慮は不 要か？ ④再び・・・ ジェンダー平等 フォトラン ゲージ	性の多様性の要請 とマイノリティへ の配慮の関係につ いて十分に丁寧に 説明すること。一 見すると矛盾する が、SOGI の視点を 理解することによ り、結び目が解け ることを理解させ ることが肝要であ る。 冒頭の絵で感じた ことの変化につい て注意を促す。	投影用資料 p.40-50
----------------------	--	--	------------------

<p>【20 分】</p> <p>【講義形式】</p>	<p>4, 序列化と構造的権力としてのジェンダー・・・多様性の称揚のみでいいのか？ ①構造としての権力とアンコンシャス・バイアス ②序列化(ジェンダー論の2つ目のポイント) ③ジェンダー構造化のプロセス</p> <p>性のダブルスタンダード</p> <p>性別役割分業の強制 ④まとめ</p>	<p>ワークシート2の完成版(事後課題)</p>	<p>投影用資料</p> <p>p.51-60</p> <p>ワークシート2(事後課題)</p>
<p>【5 分】</p> <p>【講義形式】</p>	<p>5, 次回にむけて 課題の説明ほか 次回の連絡など</p>		<p>投影用資料</p> <p>p.61</p>

【講義のススメ方について】

自らのキャリアのデザインと、ジェンダー論やジェンダーをめぐる様々な社会課題を結びつけるために、遠隔すごろくワークや、フォトランゲージなどの手法を用いている。時間が許せば、グループワークなどの形で、受講生相互の意見交換の場を設けることができれば、より効果的である。

また、LGBT への配慮と差別の関係については、SOGI の視点を軸に理解させることが重要である。

